

災害に強い高見学区をめざして



【高見学区】

■世帯数：6,277 世帯

■人 口：12,356 人

■面 積：1.062 k^m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 高見コミュニティセンターや高見小学校などを会場に、「災害に強い高見学区」をめざして活動を行う。
- ・ 初年度の平成 23 年度には、学区連絡協議会定例会および執行部会での審議を重ね、各町内会が避難所を決め、学区諸団体の役割分担を明確にした。
- ・ 安心まちづくり大会、備蓄品の確認、防災リーダー講習会、防災訓練、学区の体育祭で防災リレー、名古屋市立東部医療センターとの防災訓練への相互参加、防災体制に関するアンケート調査を 3 回行うなど、多岐にわたる活動を行っている。延べ参加者数は約 1,400 人。
- ・ これらの活動概要を広報誌「あたたかみ」及び学区のホームページに掲載している。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示、学区連絡協議会での周知、広報誌（年 2 回）、ホームページ

【アピールポイント】

各町内会の避難所を決め、3 避難所の役員も 1 年任期の輪番制と決めることができた。

2 きっかけ、背景

東日本大震災の教訓を学び、災害時の避難先、被害者の確認・救助、支援物資の依頼・配布などの手順を明確にするため、「高見学区防災体制」を確立する。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員など

学区連絡協議会定例会 50 人及び執行部会 15 人 計 65 人

(2) 他団体との協力

学区連絡協議会の各種団体と協力している。

(3) 運営協力

避難所の担当役員を 1 年任期の輪番制とすることで、防災活動の協力者、後継者を広げている。

4 実施のスケジュール

H23 年 学区連絡協議会定例会、執行部会に
5 月 て「高見学区防災体制」について審議

6 月 第 11 回安心まちづくり大会
「防災体制に関するアンケート」実施

9 月 第 13 回高見学区防災訓練（名古屋市東部医療センターが参加）

10 月 名古屋市東部医療センターの防災訓練に消防団はじめ約 40 人が参加

H24 年 「高見学区防災体制」を定例会で確
2 月 認

3 月 「高見学区防災体制」を広報誌およびホームページに掲載

5 成果と課題

(1) 成果・効果

住民意識の高まり。東日本大震災の影響もあり、関心が非常に高かった。

(2) 苦労した点

単身居住者との連絡に苦労した。

(3) 今後の課題・展望

活動の継続、担い手の世代交代。現役世代の参加、時間帯が制約されるが協力を得ていきたい。

